

製品名: Bag-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07441**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	BAG3
別名	BAG3; BIS; BAG family molecular chaperone regulator 3; BAG-3; Bcl-2-associated athanogene 3; Bcl-2-binding protein Bis; Docking protein CAIR-1
遺伝子 ID	9531.0
SwissProt ID	O95817
免疫原	抗血清はヒト BAG3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 311-360

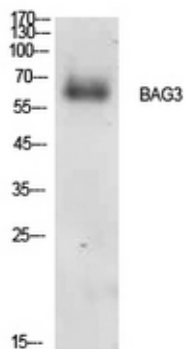
背景

BAG タンパク質は Hip と競合して Hsc70/Hsp70 ATPase ドメインへの結合を促進し、基質の遊離を促進する。すべての BAG タンパク質は C 末端付近に約 45 アミノ酸の BAG ドメインを持っているが、N 末端領域は大きく異なっている。この遺伝子によってコードされるタンパク質は N 末端領域に WW ドメイン、C 末端領域に BAG ドメインを持っている。BAG1、BAG2、および BAG3 の BAG ドメインは in vitro および哺乳類細胞において Hsc70 ATPase ドメインと特異的に相互作用する。3 つのタンパク質はすべて Hsc70 の ATPase ドメインに高い親和性で結合し、Hip 抑制様式でシャペロン活性を阻害する。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 基質遊離を促進することで HSP70/HSC70 のシャペロン活性を阻害する。抗アポトーシス活性を有する。類似性:BAG ドメインを 1 つ含む。類似性:WW ドメインを 2 つ含む。サブユニット:HSP70/HSC シャペロンの ATPase ドメインに結合します。Bcl-2 および PLC- γ に結合します。、

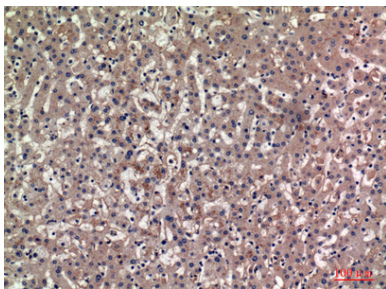
研究分野

細胞生物学

画像データ



Bag-3 ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された